

待機児童解消に抜本的対策を！

かながわ民進党
神奈川 県議 団

早稲田 夕季

「保育園落ちた。日本死

ね」の匿名ブログが波紋を
広げ、国会でも論戦が展開
されています。共働き家庭
が1千万世帯を超え、保育
所が見つからない待機児童
は2・3万人、何らかの理
由で希望の保育園に入れな
い「隠れ待機児童」は4・9
万人と言われています。

県内の待機児童は625

人、鎌倉市の待機児童数は
50人（H27年4月現在）。政
府が示す緊急対策は、国の
基準よりも手厚い保育士の
配置や面積基準を行ってい
る市町村に対し、基準を緩
和して一人でも多くの児童
を受け入れるよう要請して
います。子どもの安全安心、

保育の質を低下させる懸念

もあり、現場の実情を全く
理解していないその場しの
ぎの対策です。保育園の整
備はもちろんです。人材不
足も大きな問題です。全産
業の平均より11万円も低い
保育士の給料をまずは5万
円程度引き上げるなど、処
遇改善が必要です。また、

故では海への入水も規制さ

るなど混乱が続き、大変
ご迷惑をおかけしました。
現段階で県は、波の浸食
による土台の空洞化が崩
落、陥没の原因ではないか
としていますが、詳細な検
証を行うとともに、不安定
な崖地の岩を取り除き、早
急な落石防止工事の実施を
要望しました。また下水流
出については災害時の危機
管理、インフラの老朽化対
策という点からも問題が指
摘されています。県市が連
携し本復旧に向けて、私も
取り組んでまいります。



駅頭で呼びかけ

産業労働常任委員会

www.waseda-yuki.jp

早稲田 夕季

検索

でも情報を発信中

0467・24・0573

下水流出現場を調査

県が管理する国道134